

のぎく

＊
第124号
平成31年3月31日発行
＊

編集人 機関誌編集委員

発行人

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター内

TEL (078) 242-4644 FAX (078) 242-4069

E-mail:h-ikuseijimukyoku@honey.ocn.ne.jp http://www.tsunaguiku.sakura.ne.jp/

平成30年度 障害児等職業体験事業



- ・なおきさん 「きょうは、キッザニアこうしえんに」
- ・ゆうやさん 「くることができ、たいへんうれしいです。」
- ・ゆうすけさん 「いろいろたいけんできるようにがんばります。」
- ・みんなで 「またきてみたいです。」



目次

平成30年度 障害児等職業体験事業	1	施設・事業所部会 あいすくりーむの家群施設見学	8
平成から令和へ	2	第7回 全国手をつなぐ育成会権利擁護セミナー(in千葉)に参加して	9
地域自慢 in 相生市	2	寄附金	9
平成31年度 事業計画	3	のぎくさん	9
平成31年度 収支予算書	5	平成30年度 賛助会員	9
生活サポート総合補償制度	6	平成振返り	10・11
第1回本人活動支援部会	7	平成30年度 受章・受賞	12
第2回権利擁護委員会として「五色精光園成人寮」を見学して	7	編集後記	12
平成30年度 成年後見人養成講座	8		

平成から令和へ

公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会
理事長 井上 三枝子



5月1日、現在の皇太子徳仁親王が即位され、新元号令和の幕開けとなります。平成は「天地、内外とも平和が達成される」という意味を持ち、名前の由来通り戦争のない平和な時代でしたが、災害が多く、また近年異常気象による被害も多く発生しました。これまでの災害を教訓にいつ起こるかもしれない災害時の準備をもっと身近なものとして考えていかなければなりません。そんな中、全国手をつなぐ育成会連合会では、昨年度より各種災害時の備えとして災害支援基金を創設しました。その中から昨年の西日本豪雨で被害に遭った兵庫県の会員に対して支援金が送られ、県育成会にも状況調査費用を頂きました。育成会は全国的な組織のため各地域状況が異なりますが、基金を積み立てることは平時からの準備になり、会員同士の心のつながり・支え合いを実感することが出来ます。支援金に対しまして改めてお礼申し上げますとともに、「不意の災害に不断の用意」困った時は手を差し伸べ合う、そのための準備をするこの取り組みは育成会の原点で感銘を受けました。

また、兵庫県は平成30年県政150周年を迎え様々な記念行事が行われました。3月16日には150周年フィナーレイベントが開催され、当会が県政に貢献のあった団体に贈られる知事表彰を受賞致しました。当会は設立より63年が経過しましたが、それぞれの時代の理事長はじめ会員の皆様の努力が認められた結果だと思っております。平成最後にこのような賞をいただきこれからもますます育成会としての活動に弾みをつけたいと心を新たにいたしました。

そして、来年は東京オリ・パラ、2025年は大阪・関西万博が開催されます。みなさんとこのワクワク感を共有し、新しい時代の令和は、障害・年齢・性別・国籍関係なく誰にとっても住みやすい「ユニバーサルな街」が進むよう願っています。

地域自慢 in 相生市

相生市は兵庫県の南西部にあり人口約3万の小さな市ですが、瀬戸内海に面し三方をなだらかな山が囲み自然豊かなところで、海の幸も豊富で冬場は海のミルクと呼ばれる牡蠣が大変しく自慢の逸品です。

普段は穏やかな漁場である相生湾ですが、5月末に行われる最大のイベント、ペーロン祭では、激しい船の力走があり、各地から



5月 ペーロン祭

6万人～8万人の観光客でにぎわいます。その相生湾を埋め立て平成28年4月に新設された相生市文化会館扶桑電通なぎさホールは、造船の町で栄えたことを継承し、相生湾に浮かぶ船をイメージした造りとなっております。このなぎさホールで10月11日に県大会を行いますので、是非、ご参加ください。



相生市文化会館扶桑電通なぎさホール

平成31年度 事業計画

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

I 基本方針

差別解消法施行後も県内外で差別や虐待事件は後を絶たず、育成会として学校や職場、地域での知的障害者の理解促進のための地道な啓発活動が一層重要となっている。一方、本会は会員の高齢化と会員減少、とりわけ若い親の未加入など存続に関わる危機に直面しており、新たな取組みと併せ、事業・組織面の大幅な見直しが求められている。

平成31年度は、このような状況を踏まえ、「知的障害者の権利擁護」を重点目標とし、新たに外部専門家による相談事業を実施するほか、引続き各地区の疑似体験啓発活動を支援するとともに、障害児等職業体験事業やRPM講演会を実施する。さらに、「改革プラン」に基づき事業等の見直しを進める。

今後とも、各地区育成会をはじめ、全国や近畿の育成会組織と緊密に連携し、活動の充実と組織運営の安定化を図っていく。

II 主要事業

1 知的障害者に関する研修

(1) 権利擁護委員会の運営

知的障害者の権利擁護に向け、疑似体験啓発活動、各種相談、研修会等を実施するほか、必要に応じ県などへの要望活動を行う。

(2) 専門部会活動の充実

新たに再編した、「地域生活・高齢化対策」、「就労支援」、「施設・事業所」、「学齢・本人活動支援」の4部会において、時宜に即した研修会やマニュアル作成等の活動を行う。

(3) 障害基礎年金学習会の開催

各地区の県立特別支援学校において、障害基礎年金の申請手続き等について理解を深める学習会を開催する。

(4) 成年後見制度利用促進講座の開催

家族や地域の支援者等が成年後見制度をはじめ、各種生活支援サービス等について理解を深める研修会等を開催する。

(5) RPM講演会の開催

自閉症を持つ人への新たな教育方法である、「RPM」(ラピッド・プロンプティング・メソッド)に関する講演会を開催する。

(6) 障害児等職業体験事業の実施

職業型テーマパーク「キッザニア甲子園」を借上げ、職業体験事業を実施し、知的障害児等が働くことの大切さを学び、未来の夢を育む機会を提供する。

2 知的障害者に関する普及・啓発

(1) 第63回兵庫県知的障害者福祉大会の開催

県下各地からの会員参加のもと、知的障害者をめぐる課題や最新の情報について理解を深めるとともに、会員の相互交流を図る。

(2) 疑似体験啓発活動の推進(ひょうご“つなぎ隊”)

各地域で活動している疑似体験啓発活動団体を県内外へ広く周知するとともに、新たな活動団体の立上げや現行活動の充実を支援するため助成等を行う。将来的には県下全地区での活動展開を目指す。

3 知的障害者に対する支援

(1) 知的障害者への相談

育成会役員が、知的障害者等が抱える悩みや困りごとその他様々な内容について相談を行う。

新(2) 専門家による親なきあと相談

会員の親なきあとの準備を支援するため、直面する重要課題のひとつである、「財産管理の仕方」(信託、遺言、成年後見、相続)について、外部専門家が相談を行う。

(3) 地域生活援助者養成講座の開催

グループホーム支援員等の資質向上を図り、知的障害者の地域社会での日常生活の一層の向上に資する。

4 育成会の組織運営

〔関係団体との連携と活動の充実〕

全国手をつなぐ育成会連合会や近畿手をつなぐ育成会連絡協議会の活動に積極的に参画し、そのノウハウや最新情報等を本会活動に活かす。

〔課題の発掘・共有と解決〕

会長会や地区会長懇談会等を開催し、会員ニーズの把握、地域課題の発掘と共有化を図り、課題解決に向けた効果的な事業推進につなげる。

5 育成会改革プランの推進

本会が直面する深刻な課題（高齢化、会員減少等）に対応するため、「育成会改革プラン」（平成30年3月策定）を着実に推進し、組織の存続と安定化を図る。

Ⅲ 具体的な事業内容

1 公益目的事業

(1) 知的障害者に関する研修

〔県育成会〕

①権利擁護委員会（疑似体験啓発活動、相談、要望等）

②知的障害者相談員研修会 3回

③専門部会活動

ア 地域生活・高齢化対策部会

イ 就労支援部会

ウ 施設・事業所部会

エ 学齢・本人活動支援部会

④障害基礎年金学習会 県立特別支援学校 4校

⑤成年後見制度利用促進講座

⑥障害児等職業体験事業 2019年11月9日(土) キッザニア甲子園（西宮市）

⑦ブロック別保護者研修会 県下9ブロック

⑧社会活動参加促進支援事業 県下9ブロック

〔全国手をつなぐ育成会連合会〕

①全国大会 2019年11月23日(土)～24日(日) 熊本市

②全国育成会連合会・権利擁護セミナー

③事業所協議会全国研修大会

〔近畿手をつなぐ育成会連絡協議会〕

①近畿リーダー養成研修会 2019年6月3日(月) 尼崎市

②近畿知的障害者福祉大会 2019年11月17日(日) 神戸市

〔その他〕

①兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会

②福祉の集い

③賛詞交換会

④兵庫県社会福祉大会 2019年10月31日(木) 丹波篠山市

(2) 知的障害者に関する普及・啓発

①第63回兵庫県知的障害者福祉大会 2019年10月11日(金)

「相生市文化会館 扶桑電通なぎさホール」

②兵庫県障害者芸術・文化祭（兵庫県障害者福祉大会）

【舞台部門】但馬地域 【作品展】「県立美術館」（神戸市）

③疑似体験啓発活動団体による啓発活動 活動団体 10団体

④表彰・感謝

・育成会活動功労者への表彰

・知的障害者に貢献された個人・団体への感謝

・一般企業等で10年以上又は20年以上就労者への表彰

⑤機関誌「のぎく」の発行 年2回

(3) 知的障害者に対する支援

① 知的障害者への相談事業

〔新〕② 専門家による親なきあと相談 県下2ブロック

③ 地域生活援助者養成講座

④ グループホーム等支援員サポート事業

⑤ 在宅重度障害者生活環境改善資金貸付事業

2 収益事業

(1) 全国育成会連合会・機関誌「手をつなぐ」助成金の地区還付

(2) 「心のとも運動」還元金の地区還付

(3) 国庫補助事業助成事務

3 育成会の組織運営

(1) 評議員会の開催 年2回(定例)

(2) 理事会の開催 年3回(定例)

(3) 三役会の開催 月1回

(4) 会長会の開催 年2回

(5) 地区会長懇談会の開催 県下各ブロック

(6) 専門部会役員会の開催

(7) 兵庫県等への要望

(単位：円)

平成31年度収支予算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

科 目	合 計	事 業 会 計
I 経 常 収 益		
基 本 財 産 運 用 益	79,400	79,400
特 定 資 産 運 用 益	122,100	122,100
受 取 会 費	8,640,000	8,640,000
賛 助 会 費	300,000	300,000
事 業 収 益	2,990,000	2,990,000
受 取 補 助 金 等	14,120,000	14,120,000
受 取 負 担 金	2,494,000	2,494,000
受 取 寄 付 金	0	0
雑 収 益	420,000	420,000
経 常 収 益 計	29,165,500	29,165,500
II 経 常 費 用		
事 業 費	26,238,200	26,238,200
管 理 費	2,927,300	2,927,300
経 常 費 用 計	29,165,500	29,165,500
当期一般正味財産増減額	0	0
一般正味財産期首残高	6,198,439	6,198,439
一般正味財産期末残高	6,198,439	6,198,439

一般社団法人 全国知的障害児者生活サポート協会は 家族の安心を支えます

● 日常生活に関する相談支援

● 就労に関する相談支援

● 権利擁護に関する相談支援 の3事業を実施しています。

病気やケガで
入院したとき

入院給付金

病気で
死亡したとき

葬祭費用保険金

賠償責任を
負ったとき

個人賠償責任保険金

主な
補償内容

ケガを
したとき

死亡・後遺障害・入院・
通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波による
ケガも対象)

● 生活サポート総合補償制度の主な特長 ●

知的障がい児者、自閉症児者の
ための病気やケガの
総合補償制度がついています。

当制度は知的障がい児者、自閉症児者の
方が抱える様々な危険を総合的に補償す
るために開発された制度です。

- ▶ 入院給付金は既往症の病気、てんかんも補償。
- ▶ 全国の団体を通じてのご加入のため、多数割引が適用され、個人加入の場合に比べて保険料が割安です。
- ▶ 取扱代理店は、知的障がい児者や自閉症児者への保険の販売において、30年以上の実績があります。

知的障がい児者・自閉症児者のための専用保険

AIG損保の
普通傷害保険

生活サポート総合補償制度



知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

引受保険会社

AIG損害保険株式会社
大阪プロチャネル営業部
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪タワーB36F

取扱代理店

ジェイアイシーウエスト株式会社
〒540-0026 大阪市中央区南本町1-1-1 OCT 7階
TEL:0120-177-294 (フリーダイヤル) FAX:06-6944-1728

※保険の内容の詳細は、専用のパンフレットをご参照ください。ご不明な点は、引受保険会社又は取扱代理店までお問い合わせください。
※2018年11月現在の内容です。

一般社団法人 兵庫県知的障害児者生活サポート協会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター5F 手をつなぐ育成会内 TEL:078-891-4177 FAX:078-891-4188

D-003450 (2019-10)

第1回本人活動支援部会 みんなで一緒に考えよう！『意思決定』ってなに？

★開催日：平成31年1月19日(土) 13:30～15:30 ★場所：加古川市総合福祉会館2F

★講師：又村 あおいさん 全国情報誌「手をつなぐ」編集委員



★して欲しいこと

- 時間を取ってゆっくり話をきいてほしい
- 理解のある職場や職員に対応してほしい
- 後から変えてもいいよね？
- 予定が変わる時は少しでも早く伝えてほしい
- 立場のバランスを考えてほしい
- 家以外にいつでも話せるところを作ってほしい

★して欲しくないこと

- 不安に思うとうまく話せない
(不安に思うような話し方はしないで！)
- 話してもいい場所がほしい
- 急に条件を変えないでほしい
- 少なくとも上司はちゃんと理解してほしい
- 親の常識で話さないでほしい



第1回本人活動支援部会

- 部会長：近藤 眞由美 副部会長：塩見 和美
●参加者 ・本人…22名 ・支援員等…20名 ・総勢…42名

第2回権利擁護委員会として 「社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団 五色精光園成人寮」を見学して

権利擁護委員会 副委員長 小原 冷子

平成30年11月9日(金)、兵庫県社会福祉事業団が運営する入所施設「五色精光園」の見学に行かせて頂きました。洲本市五色町にあり、少し高台の自然がいっぱいで広々とした場所に建てられた、～365日24時間看護師配置の安心安全な施設～とうたわれている2階建てのゆったりとした障害者支援施設でした。

1階の「大地の街」は、玄関、受付事務所、喫茶コーナー、地域交流スペース、食堂、医務室、浴室、活動室等の1階、2階の共有区画。「虹の街」は、重度、虚弱、高齢者を対象とした男女混合ユニット。



ト。「太陽の街」は中、軽度の女性を対象としたユニット。

2階の「海の街」は、行動障害の男性を対象としたユニット。「星の街」は、中・軽度の男性を対象としたユニット。この五色の街で構成されていました。お部屋も利用者の方がたの特性に合わせて洋室と和室を選べたり、気の合う人同士の2人部屋もあり、高齢になっても、障害が重くても、同じ人として大切にされていて、住み続けられる施設だと、とてもうらやましく見学させていただきました。



平成30年度 成年後見人養成講座 受講者のご意見

第1講座 知的障害者をめぐる福祉制度について

現在の兵庫県の障害者の現状や問題点を事例をまじえながら、わかりやすく解説していただき、大変ためになりました。成年後見人として、常に障害者の立場にたって、物事を考えなければならないというのが、簡単そうで、難しいなと思いました。

第2講座 知的障害者の権利擁護と成年後見制度の概要について

ワークを通して「本人の意思尊重」など自分（母）ができているか？ 考える良い機会になりました。寄り添える関係づくりを家族以外にも作っていききたい（繋がっていききたい）大きな輪を広げていききたいです。

第3講座 知的障害者の理解と支援について

「伝えられないこと」のつらさを再認識しました。こちらからしてほしいこと・してもらいたいことをカードなどにして、スムーズにってもらうことをメインにしているのではないかなと思った。カードは、本人がしたいこと・伝えたいことに使って、さらに効果を発揮するのだと思った。問題行動を氷山として考えること、それに加えて出来事の前後に何があったか、どういう行動に移ったかも、合わせて見ていくことの大切さを知った。すべて一人ひとりに合わせた一人ひとり違う支援がいいのだと教えていただいた。



第4講座 成年後見制度と審理

責任が重く、仕事量（事務）も中々多いなと思いました。たくさんの財産を持っている方はたいへんだなと思いました。「本人のため」の管理なのだとわかりました。

第5講座 成年後見業務～事例を通して

事例の案件が多岐にわたり、びっくりしました。管理する、財産にまつわる色々と言うのが、そんなに幅広いものなのかなと思いました。不動産の敷地にアンテナ、対福祉施設のお金にまつわるあれこれ、運転免許、医療に関わること、財産ねらいの親族への対応…。また、勝手に辞任できないということで、気軽な気持ちで引き受けたり出来ないものなのだなあと思った。

第6講座 成年後見業務～身上監護と財産管理

誰のための成年後見であるのか事例を聞いてよく分かった。後見、保佐、補助の違いがよくわかった。午前の講座と申し立ての期間や費用が違ったので驚いた。午前の費用の話の時に、報酬と実費は分けて教えていただければよかったかなと思う。

第7講座 成年後見制度と法的諸問題について

成年後見制度がまだいろいろと改善するポイントのある制度だとわかった。信託の良さが、よくわからないなと思った。多額の預金のある人にはいいかもしれないが、（手数料無料とか）微妙な金額の人には財産がわずかに減っていくものなのかもしれないと思った。便利だけではなく、注意点をいろいろと教えていただけてよかったです。

第8講座 知的障害者の地域生活と権利擁護

成年後見制度がライフプランや様々な制度、ご本人の意思など様々な場面に関わってくことをしみじみ感じました。関わっておられる方々の顔を思い浮かべながら受講させていただきました。

施設・事業所部会 あいすくりーむの家群施設見学 参加者からの声

◇よく考えられた施設だと思います。特に車いすでの移動も十分に設計されて過ごしやすくなっている所と支援者の負担を軽減できるリフトなどの設定があり、医療関係が充実していると思います。

◇医療ケアの取り組み、細かい配慮にとっても感心しました。高齢になっても、本当に安心でき、どの地域にもほしいものです。



第7回 全国手をつなぐ育成会 権利擁護セミナー(in千葉)に参加して

公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会
副理事長 三木 尚美

11月29日、千葉の権利擁護セミナーに参加しました。午前の基調講演の講師、曽根直樹氏は、成年後見制度をより使いやすくするための地域連携ネットワークの必要性や市町村が委託した機関がチームで支援するようなしくみが大事であると語られました。また社会福祉法人も地域貢献としての関わりを期待されていくとのお話や、意思決定支援の意味についても分かりやすく話されました。午後は中野喜恵氏のミニ講演で経験からの大変実践的なお話をお聞きした後、市川の啓発隊「空」による寸劇で問題提起を受けてのシンポジウムも行われ、様々な立場での意思決定支援について活発な話し合いがなされました。本人の思いが尊重されてこそ、支援はあるべきだと改めて気づかされた実りあるセミナーでした。



大黒商事様より寄附金

今年も株式会社大黒商事様より、「知的障害者の方々のために活動されている育成会を応援したい」という激励のお言葉と年間のコピー機の売り上げの一部をご寄附いただきました。

いつも温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。



平成30年度 賛 助 会 員

井上 三枝子	尼崎市
大前 繁雄	西宮市
野村医院	芦屋市
久米 利津子	芦屋市
上坂 秀昭	川西市
坂本 寿子	川西市
大野 セツ子	宝塚市
松井 美弥子	宝塚市
小原 冷子	宝塚市
株式会社丹波屋	三田市
株式会社三田屋本店	三田市

澤外科	三田市
株式会社丸優	三田市
杉本医院	相生市
株式会社下村商店	明石市
ミナト歯科医院	明石市
村上 友江	明石市
廣橋 岳登	明石市
谷本 靖子	明石市
前田 智子	赤穂市
神沢クリニック	三木市
埜崎 太宗	多可郡

まねき食品株式会社	姫路市
田淵 聡子	たつの市
松原 和夫	豊岡市
小笠原 健次郎	豊岡市
田野 哲夫	美方郡
森鼻 麗子	神戸市
幼保連携型認定こども園 あい保育園	神戸市
ジェイアイシーウエスト株式会社	大阪市
根来 厚子	京都市
ちえの友鉛筆株式会社	東京都

平成振り返り



〔県政150周年を記念し、特に貢献のあった団体として知事表彰を受賞しました〕

平成時代では、平成7年1月17日の阪神淡路大震災が一番記憶に残っています。自宅はあまり大きな被害はなかったのですが、震災によって沢山の死者・行方不明者が出て、また建物の倒壊、ライフラインが遮断されるなど日常生活にも大きな被害が出ました。その時にテレビに映し出された炎に包まれた神戸の街は衝撃でした。アナウンサーが「こんなの神戸じゃない」と絶叫されたのが今も耳に残っています。

嬉しかったことは重度といわれている知的障害や自閉症の人達に外見からは計り知れない知性がある、という事が分かったことです。自分の想いを表出する手段がないために何も分かっていないと思われるのです。これから先、様々な角度から障害について解明されもっともって本人の力が発揮できるのではないのでしょうか。未来は明るい！

(理事長 井上三枝子)

私にとって平成の時代はわが子を通じて知的障害という言葉を知り、手をつなぐ育成会の門を開け、育成会活動にどっぷりとはまっていた30年と言っても過言ではありません。

小学校は普通学級か特別支援学級か？ 中学校は市内の学校に通えるのか？ 高等部は市外の学校に自力で行けるのか？ 卒業後は… 通える作業所が無い!! 子育てからずーと不安な事だらけの毎日でした。そうした中、同じ悩みを抱えた仲間との存在は大きかった。行く所がなければ作業所を作るしかない!! 仲間とともに活動をする強い力をもらいました。そんな心強い仲間たちと現在はグループホーム事業に奮闘中です。これからも困難、苦難の壁はありますが、知的障害者が普通の暮らしができるように… 親も安心できるようにしていきたいですね。

(副理事長 田中文江)

平成の時代が終わろうとしている今、ふり返ると私自身の平成は、まさに子育てに邁進した時代だと言えるかもしれません。平成5年に生まれた長男に障害があると気付いてまもなく三田へ引っ越し、同時に育成会にも入会しました。長男が地域の学校に通う中で、先生方や育成会の人たちに支えられ

ながら私は子育てをし、息子達は成長していきました。人と人との繋がり大切さを改めて気づかせてくれる、この“平成”という時代に、私たち家族は育ててもらいました。措置からサービスへと制度も変わり、今後は共生の社会を夢見て行きたいです。まだまだ課題もありますが、平成は私に、人生で大切なことを色々教えてくれた時代であったと深く感じています。 (副理事長 三木尚美)

平成を振り返ると自分の生まれた昭和より平成の方が長く生きてる事にビックリ！そしてこの30年の間にインターネットの普及により、通信とメディアが革命と言えるほどに劇的な変化を遂げたことにビックリ！電話回線から光回線に、パソコンからスマホへ、テレビからインターネット放送へ、部屋から屋外へそれは便利でとても楽しいものになりました。でもこれだけ普及しているのに入所施設やグループホームにWi-Fi完備してるところが少ないのはなぜでしょう。次の30年でそれが当たり前になる日が早く訪れることを願います。

障害福祉も大局を持った視点で語らなければいけない時代になると思います。ドラえもんが生まれる年まで90年、うちの娘が便利で楽しい生活がおくれますように。 (常務理事 矢野一隆)

～奇跡の瞬間、ふたたび～

昭和から平成に変わった時、人心が一新され、理想の社会が来ることを期待した。が現実とは全く逆で、社会は上昇から下降、安定から混乱、大災害も連続。人間はというと、無知、無責任、自己中、モラル・品格の欠如、不正・犯罪、暴力・殺人、スマホ依存病。たった30年で日本人はこうも堕ちた。

そんな平成だが私の仕事人生45年の大半を占める。この間一体どれほどの人々と出会ったことか。現世で会えない人もいる。自分の不義理に悔いが残る。

新たな年号が始まる。年号には西暦にはない深みがある。生涯で二度も改元に遭遇するのは奇跡に近い。再び新しい時代を刻む。本物を探しながら。 (事務局長 吉田裕明)

平成の半分以上を事務局でお世話になり、色々な人との関わりを持つことができ楽しく仕事をさせていただき、自分自身の幅を僅かながら広げられ、今ある自分は、兵庫県手をつなぐ育成会で培われたのだと思います。障害者の方と関わるのが、年間を通じて僅かでもまだまだ障害者の方の理解ができていませんが、もう少しみなさんと一緒に歩んでみたいものです。 (事務局 守安由利子)

平成の終わりを迎え、改めてどんな時代だったか考えてみると、生活は大変便利になり、物も情報も簡単に手に入る時代になりましたが、人との繋がり希薄になっていった気がします。そんな中でも地区育成会の皆さんは、共に手を取り助け合いながら頑張っておられます。私も県育成会にお世話になって14年、入った当初は恥ずかしいことに、障害の事を正しく理解できていませんでした。皆さんのお話や本人さんとの交流で、発見や学んだことがたくさんありました。疑似体験啓発活動を通じ理解の輪が広がり、次の時代は、障害者に優しい心豊かな時代であってほしいです。私自身も止まることなく成長していきたいと思います。 (事務局 岡田千枝子)

平成30年度 受章・受賞

おめでとうございます。会員の皆様と共に祝い申し上げます。
今後ますますのご活躍をお祈りします。

矢野 一隆
(公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会
常務理事)



◆厚生労働大臣表彰
(更生援護功労者)
◆兵庫県功労者表彰

小石 信子
(公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会
監事)



◆第5回全国育成会連合会
全国大会京都大会理事長表彰

◆第67回兵庫県社会福祉大会知事表彰(障害者自立更生者)

氏 名	住 所	勤 務 先	氏 名	住 所	勤 務 先
杉本 和彦	尼崎市	株式会社 いかりスーパーマーケット 塚口店	鶴田 幸子	三田市	株式会社 丸優
富塚 純光	西宮市	株式会社 ハイレックスコーポレーション 三田工場	池内 一仁	三木市	トミタテクノス 株式会社
野条 直美	西宮市	ヤマト運輸 株式会社	土井 晴美	三木市	株式会社 小野ダスキン
平安座直子	西宮市	株式会社くらコーポレーション くら寿司さくら夙川店	國富 洋一	姫路市	株式会社姫路農産流通センター
守川 敏江	宝塚市	エームサービス 株式会社	花井 武義	姫路市	門倉貿易株式会社 たつの工場
中 邦彦	宝塚市	株式会社 協同食品センター	廣納 麻由	神崎郡神河町	社会福祉法人光輪福祉会 あやめ苑
森脇 久嘉	三田市	株式会社 パトライト			

◆第14回兵庫県障害者芸術・文化祭【兵庫県障害者福祉大会】
公益財団法人兵庫県手をつなぐ育成会理事長表彰「知的障害者就労表彰」

《10年表彰》

氏 名	住 所	勤 務 先
是澤 達也	尼崎市	ホテルユニバーサルポート
新宮 堅一	西宮市	ヤマト運輸株式会社
永瀬 孝子	西宮市	布亀株式会社
鈴木 洋介	伊丹市	K-maisonときめき
村岡 将佳	宝塚市	特別養護老人ホーム 宝塚あいわ苑
三木 健雅	加古川市	新関西衣料サービス株式会社
大高 浩一	加古郡稲美町	新関西衣料サービス株式会社
森 隆廣	加古川市	株式会社コロンビア
福田 充裕	加古川市	住友ゴム工業株式会社
増田 千夏	加古川市	株式会社グルメサービス

《20年表彰》

氏 名	住 所	勤 務 先
樋口 誠	尼崎市	ヤマト運輸株式会社
市明 久	尼崎市	株式会社ボオトデリカトオカツ
浦山 清次	尼崎市	イオンリテール株式会社 イオン尼崎店
堀 貴士	西宮市	エルホーム芦屋
竹村 広造	西宮市	有限会社中島物産
簗田 健	西宮市	エム・シーシー食品株式会社
北川 晶三	伊丹市	村田興産株式会社
土山まさる	宝塚市	株式会社マニックス 宝塚店
松田 政史	加古川市	神戸大学附属特別支援学校
黒田晃志郎	加古川市	株式会社ジョイックスコーポレーション
矢野 禎子	加古郡播磨町	信和工業株式会社
尾崎美弥子	美方郡新温泉町	介護老人保健施設 ささゆり

編集後記 今号限りで編集委員を退任することとなり、委員として最後の編集後記を書くことになりました。のぎく紙面変更から10年間関わらせていただき、様々な方との出会いがあり様々な事を学ばせていただきました。その出会いと学びをこれからも活かしていければと思っています。長い間ありがとうございました。(うさ)